

2 0 0 6 年 7 月 6 日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
2-5 F・Kビル
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
URL : <https://www.fuji-keizai.co.jp/>
広報部 03-3664-5697

画像処理システム市場の調査を実施

- セキュリティ領域は2009年に1,525億円予測(05年比 134%) -

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、FA用途では一般化している画像処理システム市場を調査した。その結果を報告書「2006 画像処理システム市場の現状と将来展望」にまとめた。画像処理システムは、電機業界から食品業界まで半導体前工程から製品組立工程まで様々な業種・用途で需要が高まっている。

< 調査結果の概要 >

対象	2005年	2009年予測	対05年比
処理装置	457億円	653億円	143%
産業用カメラ	220億円	254億円	115%
検査アプリケーション	2,542億円	3,073億円	121%
測定関連機器	248億円	279億円	113%
セキュリティ領域	1,135億円	1,525億円	134%
車載・ITS関連	217億円	389億円	179%
センサ・チップ関連	3,669億円	5,218億円	142%

処理装置

画像処理装置は、半導体製造から電子部品実装まで、電子部品材料関連装置向けの需要が大きく、筐体型、ボード型ともに好調に市場を拡大している。

画像センサは、現状では製品が能力不足と評価されているため、本格的に市場は形成されていないが、今後は、現在普及している画像処理装置に代わって低価格な画像センサが注目されてくる。画像センサは、新規ユーザー取り込みのため、ユーザーのニーズに適した製品開発が必要である。

産業用カメラ

エリアカメラは半導体関連、実装関連向けの白黒アナログタイプが依然としてメインであるが、カラーや高画質、高速といった高付加価値製品、デジタル対応製品のウエイトが高まりつつある。また、スマートカメラ、CMOSカメラといった新しい動きが出てきている。ラインカメラは液晶関連向け製品が好調だった事で、2005年は大幅に拡大した。今後は新たな用途展開とともに、市場は引き続き液晶関連の好調に牽引され拡大していくと予測される。

検査アプリケーション、測定関連機器

半導体分野はやや軟調であるが、FPD、電子部品実装、シート関連、食品・薬品、測定関連機器など他の分野は総じて好調に推移している。FPDはリペア装置の伸びが大きくなっている。電子部品実装分野では、リフロー後の検査を中心に外観検査需要が高まっている。シート関連では、液晶向けフィルム用検査需要が旺盛になっている。好調が続く液晶検査装置市場以外では、食品検査市場や医薬品検査市場などの新規分野が市場を拡大すると考えられる。

セキュリティ領域

セキュリティ領域では、「監視カメラ」が市場を牽引している。防犯システムを構築するにあたり、映像によるモニタリング監視はシステムの中心的な位置付けとなっている。セキュリティシステムは、IPネットワークへの対応など、トータルソリューション展開が活発化すると見られる。IPネットワークに対応する「Webカメラ」や、

直接 I P 回線から映像データを記録できる画像記録装置が出始めており、今後の動向が注目される。

生体情報で本人を識別するバイオメトリクス認証も注目を集めている。数量ベースでは指紋認証が多く、入退室管理用途などで先行して市場を形成している。顔認証、虹彩認証、静脈認証など他の認証方式を含めて認証ユニットをモジュール化する動きも出ており、本人確認のツールとして製品化されている。

車載・I T S 関連

「車載カメラ」が圧倒的に多くなっている。特にバックモニタカメラが主要製品となっており、各自動車メーカーとも適応車種を拡大している。またサイドビューにおいても、国土交通省が定める「乗用車等の運転者の視界基準の概要」で継続生産車にまで対象がひろげられ、2006年も市場は拡大する見込みである。画像認識への応用が実用段階にきており、車線検知システムだけでなく、車内に設置して居眠り状態を検知するなどの安全技術への応用が出てくると予測される。また車載DVRは、2006年から新規参入が相次いで本格的に事業を展開しているため急拡大しており、タクシー業界を中心に需要が旺盛となっている。現状は業務用車両中心の外付け品市場である。2006年は個人ドライバー向けの製品も販売開始されており、一般乗用車への採用拡大が期待される。道路交通監視カメラや、車両入退場管理システムなどは、道路交通システムのIT化の流れを受けて、映像監視や画像処理への利用シーンの拡大が見込まれ、市場拡大が期待できる。

センサ・チップ関連

CCDエリアイメージセンサは、DSC(デジタルスチルカメラ)などに搭載されるが、価格要求が厳しくなっており、国内市場では金額ベースでの大きな伸びは期待できない。今後は、自動車の安全技術の取り組みが進展するに伴い、車載カメラ市場の拡大が期待されている。また、IPネットワークに対応するWebカメラも有望視される。携帯電話向けカメラモジュールは欧米端末メーカーの搭載比率がまだ50%以下で今後海外市場の伸びが期待される。テレビ電話として使用するWCDMA端末ではカメラがデュアル搭載され、ハイエンド機種に限定されるものの、カメラの搭載数が増加するため市場の拡大が見込まれる。携帯電話用グラフィックプロセッサは、国内市場よりも海外市場が有望視されている。

<注目市場>

車載カメラ 2005年 117億円 2009年予測 250億円(対05年比 214%)

主として国内市場に軸足を置いており、自動車の高機能化の流れで着実に市場が拡大している。用途としては、バックモニタ、サイドビューとしての視認支援の使い方から、画像処理を駆使した運転支援、ユーザー認証、車内状況の監視などへの応用が進み、堅調に推移すると予測される。現状、CMOSカメラの搭載は低調であるが、性能面でCCDカメラと遜色がなくなりつつあることから、徐々に車載カメラとしての採用が進むと見られ、画像処理への応用に弾みがつくことが期待される。高級車への純正及びオプション搭載が2009年ごろから本格化すると予測され、車載カメラによる安全性の訴求が一段と高まる方向にある。一方、海外は市場が未形成であり、モニタを利用するカーナビゲーションが普及していない状況である。しかし、北米ではバックモニタの採用を促す法制化の動きが出ており、今後、市場が立ち上がる可能性が出ている、一部のメーカーではそれに対応した動きをとっている。

画像記録装置 2005年 360億円 2009年予測 630億円(対05年比 175%)

デジタルビデオレコーダは、大容量タイプのニーズが市場を下支えし堅調に拡大している。NDR(ネットワークデジタルレコーダ)はHDD方式などのDVRからのリプレイス需要によって、今後参入各社で顧客獲得競争が活発化する。市場は2~3年後に本格的に活発化し、今後は引き合いをどれだけ受注に結びつけられるかがポイントとなる。画像記録装置市場としてはHDD式が主流を占めるが、今後はWebカメラの市場拡大とNDRの台頭により、画像圧縮/伸張はIPネットワークでの対応が可能となる。

X線検査装置 2005年 75億円 2009年予測 120億円(対05年比 160%)

中国を中心とした輸出は今後も順調に拡大すると見込まれる。中国では低価格品が需要の中心となっている。今後は国内のハイエンドニーズへの対応と海外でのローコスト対応の両方を進める事で市場は拡大を続けると見込まれる。品質要求が高い車載用途に採用される電子部品が増加している事から、自動車メーカー、車載電装品メー

カーをはじめ、車載用途に供給しているデバイスメーカーでも出荷検査用にX線検査装置の採用が増加している。品質トラブルは企業に大きな損失を与えるため、今後より厳しい品質管理を行う企業が増加すると考えられ、X線検査装置の採用も増加していくと見られる。

< 調査対象 >

対象	品目
処理装置	画像処理装置（筐体型、ボード型）、画像センサ、三次元画像処理装置
産業用カメラ	エリアセンサカメラ、ラインセンサカメラ
検査アプリケーション	光学式パターン検査装置、BGA/CSP検査装置、液晶検査装置、PDP検査装置、レーザーリペア装置、点灯検査装置、クリームはんだ印刷外観検査装置、部品装着外観検査装置、はんだ付け外観検査装置、卓上検査装置、X線検査装置、無地シート外観検査装置、印刷面外観検査装置、空ビン（PETボトル）外観検査装置、文字検査装置、錠剤検査装置、顆粒剤検査装置
測定関連機器	画像測定器、ビデオマイクロスコープ
セキュリティ領域	監視カメラ、Webカメラ、広視野角全方位カメラ、赤外線カメラ、エレベータ内監視カメラ、画像記録装置、画像伝送装置、顔認証、虹彩認証、指紋認証
車載・ITS関連	車載カメラ、車線検知システム、ナイトビジョンカメラ、車載DVR、道路交通用監視カメラ、駐車場画像管理システム、コンテナX線検査システム、車両入退場管理システム
センサ・チップ関連	CCDエリアイメージセンサ、携帯電話向けカメラモジュール、携帯電話向けグラフィックプロセッサ

< 調査方法 >

富士経済専門調査員によるヒアリング調査

< 調査期間 >

2006年4月～2006年6月

以上

資料タイトル：「2006 画像処理システム市場の現状と将来展望」

体 裁：A4判 333頁

価 格：97,000円（税込み 101,850円）

調査・編集：富士経済 大阪マーケティング本部 第1事業部

TEL:06-6228-2020 (代) FAX:06-6228-2030

発 行 所：株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル

TEL03-3664-5811 (代) FAX 03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp

この情報はホームページでもご覧いただけます。URL:<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

URL:<https://www.fuji-keizai.co.jp/>